

## 幼年時代のインプリンテイング ～ 生涯に影響を与える ～

2024年3月19日 新渡戸稲造記念センターから順天堂大学での医学部医学系研究等倫理委員会に出席した。大変勉強になり有意義な倫理委員会であった。

3月19日 アメリカワシントン州に在住の娘から【Hi Papa! Today we went to Point Ruston and could see a beautiful view of Mt. Rainier covered in snow】(画像)が送られて来た。大いに感激した。【Mt. Rainier(レーニア山)は、アメリカ西海岸の北部ワシントン州にあり、カスケード山脈の最高峰である成層火山である。高さは4,392m】とのことである。

また、3月19日 写真家の河合章氏から【樋野興夫先生 いつもお気遣いありがとうございます。富士山の写真を整理していたら、前回お送りしました、富士五湖の写真で、見落としていたものが、4枚も見つかりました。撮影場所は、足和田村です。手前の氷のオブジェは、水道の水を、ゆっくりと流し、大自然の冷気で、凍らせてこの様な、オブジェに造形した物です。富士山も、笠雲を被っています。】(画像)との心温まるメールを頂いた。Mt. Rainierと富士山(3,776m)は、よく似ている。

筆者は、幼年時代から今は亡き母に【誕生の年の初夢に富士山を見た＝『富士山子』】と毎日母に励まされた。故に『富士山』には特別な思いがある。幼年時代のインプリンテイングは生涯に影響を与える様である。幼年期の教育の重要性を痛感する今日この頃である。

3月20日は『がん哲学外来あびこカフェ代表 中野綾子氏』が企画された【がん哲学外来亀有メディカルカフェ開設記念 樋野興夫先生講演会】(亀有教会において)に赴く(画像)。インタビュー形式で、【『樋野先生のふるさと』& 『言葉の処方箋』：『明日この世を去るとしても今日の花に水をあげなさい』& 『病気があっても病人ではない』& 『全力を尽くして心の中でそっと心配する』& 『生ける魚は水流に逆らって泳ぐ』& 『人間に必要なのは正論より配慮』& 『人は最後に死ぬという大切な仕事が残っている』】などなどを質問されるとのことである。



がん哲学外来亀有メディカルカフェ

開設記念講演会

参加費 300円  
要予約



がん哲学外来カフェへようこそ！

がん哲学外来カフェとは？

樋野興夫先生(順天堂大学名誉教授)の提唱より、医療の隙間を埋めるために始めた交流の場です。がん患者、ご家族、ご遺族、ご友人、医療関係者、関心を持つ方々などが集まり、お茶を飲みながらゆったりとした雰囲気の中で、心の内を吐き出して共に泣き、共に喜び「解決できなくても解消できる」場です。



講師 樋野 興夫 先生

順天堂大学名誉教授

がん哲学外来市民学会代表

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長

新渡戸稲造記念センター長

恵泉女学園理事長

2024年3月20日(水・祝)

13時～16時

- 樋野興夫先生講演会
  - 近隣のカフェの主催者、カフェ参加者によるパネルディスカッション
  - グループに分かれてメディカルカフェ(お茶のご用意があります)
- ※樋野先生と面談 希望者2組

【会場】 亀有教会

東京都葛飾区亀有 2-27-3

千代田線直通 JR 常磐線

亀有駅南口から徒歩10分

【主催】 がん哲学外来亀有メディカルカフェ

【後援】 がん哲学外来市民学会

【協力】 がん哲学外来コーディネーター 中野綾子

【問い合わせ】 090-4428-7370

(代表) 小暮信子

【申し込み】 申し込みフォームより ➡

申し込みフォーム

